

園だより



駿河台大学第一幼稚園

5月号



園庭から見えるサクラやイチョウ、コブシ、クスノキ、ケヤキが一斉に緑濃くなり、新緑の季節を迎えました。五月五日は、子どもの日。子どもたちが健やかにたくましく成長してほしいと願いながら祝う節目の日です。

4月号の園だよりでお伝えしましたが、入園・進級して一ヶ月が経ち、ご家庭での生活リズムや朝のルーティーンは定着してきましたでしょうか。

5月号では、お子様の健康・身体を動かす成果についてお伝えします。

昨年度、進んで身体を動かすことを楽しむ幼児を育てるという主題で園内研究を行った中で、気が付いたことがあります。身体を動かして遊ぶ楽しさを知っている子どもは、新しい動きを含む遊びに出会った時にも「やってみたい」と進んで取り組もうとしたりすぐに身体の動かし方や力の入れ方を身に付けたりして楽しむことができる。身体を動かして遊ぶ中で、気持ちが柔軟になり互いに受け入れ合う気持ちをもち、快活な姿が見られるようになった。友達のしている動きや、難しいことに挑戦している他学年からの刺激、教師のタイミングの良い励ましなどが「やってみたい」という意欲につながったなど、成果が姿として現れていました。今年度も身体を動かす楽しいことを、園庭で、近隣の散歩で、遠足で、日常の中でと、身体を動かす機会を増やしていきます。

また、JSPO ACP 新聞によると子どもの頃の身体活動や健康状態は、大人になってからの身体活動や健康状態にも関係するとあります。進んで身体を動かし、その楽しさを幼児期に十分味わってほしいと、先生たちは日々外に出てお子さんを遊びに誘い、共に全速力で走り、鬼遊びや運動遊びを楽しんでいます。年少組さんも5月には園生活になれ、固定遊具の安全な使い方を教えてもらい、楽しめるようになると思っています。ご家族でも是非身体と一緒に動かして楽しんでみましょう。



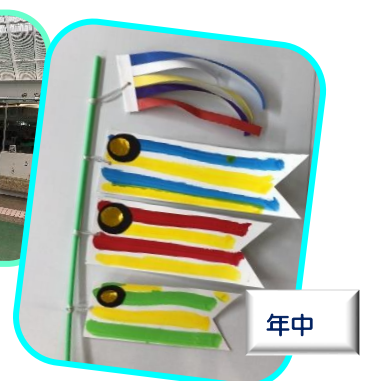
大きなこいのぼりを飾りました



年少



年長



年中